

令和5年度の重点事業を県に要望

問政策財政課 ☎51-6710

上北圏域の市町村（十和田市・三沢市・野辺地町・七戸町・六戸町・横浜町・東北町・六ヶ所村・おいらせ町）が、県、国と連携して取り組むべき重点事業について県に要望書を提出しました。

10月28日に県庁で行われた重点事業説明会では、小山田市長が三村知事に対し、最重点要望2件について直接協力を求めました。



最重点要望

① 自治体DX(※)の推進について

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）
デジタル技術を浸透させることで、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。



行政運営において多くの効果が期待されるDXの推進にあたり、①地方自治体に負担が生じないよう、システム改修経費の財政支援について国への働き掛け、②スマートフォンなどの情報通信機器を効果的に活用できない人を支える「デジタル人材」の育成についてお願いしたい。

①システム改修にかかる財政支援については、確実に実施するよう全国知事会などを通じて国に対して要望しており、今後も引き続き市町村との連携を図りながら、さまざまな機会を捉えて要望を行う。
②デジタル人材の育成については、全ての県民がデジタル化のメリットを享受できる社会の実現が必要との考えから、高齢者や障害者を支える「ICTサポーター」の育成に取り組んでおり、デジタル技術の利用促進につなげていく。

② 外国人観光客の誘客強化について

外国人観光客の需要回復期に他の都道府県との地域間競争に出遅れることがないように、観光情報の積極的なプロモーションや外国人向け観光メニューの充実などにより誘客強化に取り組んでいただきたい。

本県が他地域に先駆けて外国人観光客を誘致することを目的に、これまで重点的に取り組んできた東アジア4地域を中心に、現地旅行会社への働き掛けやSNSを活用した本県のPRなど、認知度の維持向上を図るための各種取り組みを推進している。今後、受け入れ体制が整備されている観光施設などについても、「外国人にやさしい立ち寄り施設」として県の外国語版観光情報サイトなどに掲載するとともに、海外旅行会社などに紹介し、情報発信していく。



最重点要望2件のほか、本市では15件の重点事業について要望しています。

その他の要望事項

3	三沢空港発着路線の維持・拡充等について	11	子ども医療費の無償化制度の創設について
4	人口減少克服に向けた施策の充実について	12	主要地方道三沢十和田線の整備について
5	放置遊覧船への対応について	13	八戸・十和田・小坂間の道路整備について
6	高速交通網へのアクセス強化について	14	一般国道103号奥入瀬 <small>（青楓山）</small> バイパスの整備について
7	三沢空港の周辺環境整備に向けた支援について	15	奥入瀬溪流における公衆トイレの整備について
8	消費生活相談員の育成への支援及び恒久的な財政支援について	16	一般国道102号の整備について
9	感染症病床を有する病院への財政支援について	17	二級河川奥入瀬川の河床整理について
10	周産期医療関係医師・麻酔科医の確保について		